

公益社団法人 福岡県理学療法士会

令和元年度 第2回理事会議事録

日 時：令和元年7月13日（土） 17：00～21：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

出席者：（理事）西浦、廣滋、松崎、諫武、近藤、宇戸、吉田、久保田、山口、高橋、熊谷、
松垣、中村、平原、加藤、時吉、永野、岩佐、山内、福田、今村、志田
（監事）森田、日野、田中
（事務員）中山、本村
（欠席）佐藤、久原、遠藤
（書記）池田、池永

議長は、西浦会長がつとめ、会長、監事により議事録に署名することを確認した。

【審議事項】

【会長】

【法人事業】

1. 臨床実習指導者講習会の補正予算について

西浦会長：養成校と協力して開催している臨床実習指導者講習会の補正予算について審議したい。補正予算になった経緯としては、この講習会について協会から一部の予算を負担するという予定だったが、協会からは負担なしという決定が通達された。すでに予算を立てた後の通達だったうえ、養成校との話し合いもできておらず、今回の報告および審議に至った。また予算について1回の講習会につき約50万円の費用がかかることが明らかになった。養成校連絡協議会で、すべての養成校にも15万円の負担をお願いし、その不足分を県士会が負担する提案となった。県士会には卒前卒後委員会が存在し会員の教育という点からも補正予算を立てこの講習会をサポートしたいと考える。理事会にて審議いただきたい。

宇戸学術局長：養成校意見交換会にて、各養成校の負担金を10万円としてその不足分を県士会が担う形で話を進めていた。養成校連絡協議会を立ちあげ養成校側から3支部1名ずつと県士会から宇戸、山口理事、森田監事の3名が参加し話し合いをしている。現在、受講者へは受講料無料、資料代1000円と連絡をしている。しかし、協会から資料の全てをカラーで印刷するようにと通達があり、資料1冊2000円程度の原価がかかることがわかった。また、備品関係でもいろいろな経費がかかることが明らかになった。臨床実習指導者都道府

県講習会準備会議で議論および協議をした。収支を計算した結果、県士会は102万円の負担が必要となった。

山内理事：先日の養成校意見交換会では、県士会非会員の講師のいる養成校には20万円の負担とされていたが、今回の各校15万円に至った経緯について教えて欲しい

西浦会長：当初、養成校と学生を対象に考え、養成校に非会員講師のいる場合その養成校の負担金を高く設定した。しかし県士会としては会員に対しての教育という立場、養成校は学生のために一緒に県士会と講習会を行う立場という協力体制であるべきという見解に至った。そのため、県士会は会員の負担を減らす努力として、養成校側ではなく、非会員受講者に対し20000円を負担していただくことにした。

熊谷理事：前回の養成校意見交換会では、養成校と県士会が費用を分担するという話であったが、330万円の内102万円というのは県士会の負担が大きいと感じる。もし養成校に20万円算出してもらえれば、県士会の負担も20-30万程度と軽くなり、支出費用も同等程度になると考えられるが、なぜ15万円に至ったのか。

西浦会長：当初よりも倍の額をお願いすると養成校側が費用を出さない可能性もあること、県士会の役割として会員の教育について重きを置き、県士会が予算を多く出すという考えになった。

近藤事務局長：この取り組みは卒後教育の一環であり、今後も継続して行われる事業である。それに伴い、養成校と県士会のどちらが主体性を持つかという議論に至った。協議会を発足したが、これは後ろ盾のない集まりである。県士会の卒後教育事業の一環として養成校に協力を求めることで、会員に還元していくことを前提にした議論をしたいと考えている。

森田監事：学校協会の九州沖縄ブロックの評議会での議論の中で、助成金として40万円出すという案があった。一県5万円、福岡県理学療法士会には25000円の助成が出るのが決まったので報告する。各県の対応を紹介する。熊本は2回開催、費用は協議会と県士会で負担、大分は県士会が全て負担し3回開催、長崎は協議会が主体で2回開催であるが、離島が多く離島の臨床指導者については移動日含め4日の日程が必要であるので受講者の負担が課題である。宮崎は3回開催、県士会と協議会で費用を負担し、鹿児島は協議会が主で行い県士会の関与はない。佐賀は協議会が主体で開催する。沖縄は3回開催するが詳細は未定ということだった。学校の評価機構で養成校は、5年に一回評価を受けなければいけない。学校評価機構を受けるには15万円以上の費用もかかる。指導者の中に非会員がいることを養成校は報告しなければいけない。非会員を抱える養成校の評価が下がると提言されている。今後非会員の講師は減少すると考えられる。また、養成校側が費用を渋るというケースは少ないと考えている。厚労省は自校での臨床実習指導者講習会の開催について受講者の抱え込みやファシリテーターの選出を自校で賄

うことを禁じており、養成校側としても県士会との協力は不可欠な状況であると認識しているはずである。

西浦会長：県士会として会員への還元を踏まえ、県士会に主導権を置く必要はあると考え、この費用分配とした。また費用の詳細について、出来上がった資料を使用することを理由に、講師謝金およびファシリテーター代に関して、費用を抑える努力をしている。

山内理事：もし養成校側が費用の負担をできないと申し出があった場合は、県士会が費用負担するのか。

西浦会長：その可能性は否定できない。そうならないように協力してもらえよう願っている予定である。

森田監事：自校開催の場合、15万円という費用では開催できないことは養成校側も承知の事実である。おそらく協力してもらえよう考える。

近藤事務局長：今の受講者状況を教えてください。

宇戸学術局長：100名定員である。第1回目が約150-170名の応募があり100名を選出した。第2回が200名、第3回以降も150名前後の応募があり、現在応募者900名程度である。この中から600名に絞る作業が必要である。

山内理事：現在の選定基準は新人プログラム修了者、認定・専門理学療法士の取得者、経験年数、などであるが、学生の実習先施設を狭小化させないように施設の偏りは検討しなくて大丈夫なのか。

宇戸学術局長：偏りをこちらも考慮していたのだが、3-4施設程度の偏りしかなかった。おそらく同じ日に参加することが難しくこのような結果になったと考える。

今村理事：勤務や出張として研修会に参加できるよう調整をしていた施設がある。マイページで登録したら登録できたので、行けると思って勤務を調整されたようだが、結局選考も漏れてしまったようである。業務で人員を出して登録させた施設もあるかと考えると、もう少し対処の方法を検討できないか。

宇戸学術局長：そのようなことも懸念していたので募集期間を決めた。先着順で絞ってしまったら簡単な話だが、選定基準を設けているので、基準を満たす方が後から登録されたら優先順位が上げなければいけない。締め切りを設けている以上、締め切り前に終了できない。講習会ごとに応募期間を示しているなので、それを確認して勤務調整のご協力いただくしか現在の方法はないと考える。応募期間と基準についてはHPなどに掲載させていただいている。

森田監事：先着にすると偏りや指導者の基準を満たさない方が参加される可能性などを考慮し、調整のために基準を設けた経緯があるのでご理解いただきたい。

宇戸学術局長：事務所へもお問い合わせが多々きており、申し訳なく思っている。

西浦会長：協議会を各都道府県に設置することが義務つけられているが、協議会での通帳が作れなかったため、卒前卒後委員会の一環として県士会の通帳を利用すること

とした。ご理解をお願いしたい。

廣滋副会長：締め切りを 1 か月前にしているが、勤務調整を考えると早めの連絡が望ましいと考える。締め切り前でも受講の参加および不参加の確定した人に連絡できないか。

松崎副会長：一か月半前に締め切りしてはどうか。また、現在の締め切りを訂正することはできないか。

宇戸学術局長：勤務形態について施設の先生方にご迷惑をおかけする部分が大きそうなら、検討及び調整をしたい

→承認

2. 令和元年および令和 2 年度各部局の部長および委員会の委員任命について
西浦会長より諮問委員会の担当について説明

組織検討委員会：委員長→近藤事務局長、

委員→平原総務局長、福田理事、山内理事、遠藤理事

倫理委員会：委員長→廣滋副会長、

委員→高橋社会局長、時吉理事

表彰委員会：委員長→諫武副会長、

委員→松崎副会長、岩佐支部局長、加藤理事

また、三役の業務分担について追加資料を用いて説明。三役業務管理の秘書役として時吉理事に依頼。

→承認

【総務局】

【法人事業】

[総務部]

1. 2019 年度・2020 年度部長配置について（別紙①）

2018 年度・2019 年度部長公募の結果および配置について審議いただきたい。

加藤理事より別紙資料で説明

岩佐支部局長：部長選出の際に支部の運営委員に声をかける際には、担当支部理事に声をかけてほしい。運営委員も戸惑うし、支部理事も運営について既に配置を検討していたため、さらに調整が必要になった支部もあるので、強く依頼したい。

加藤理事：学術局からこのリストについて定員決定理由など含め、説明してください。

岩佐支部局長：学術局は部長を増やした部局が多いのでその理由について説明をお願いしたい。

平原総務局長：前年度の前任者リストと応募者リストを比較した資料を用意しているので、

増加および減少や部長の選出などの説明をお願いしたい。もちろん、応募者が多いからといって必ずしも全員を受け入れる必要はない。

吉田理事：当日の責任者を支部に 2 名依頼していたので、すべての責任者を学会部で賄えるように 2 名の増員が必要と考え 7 名を任命したい。

→学会部 7 名を承認

宇戸学術局長：学術編纂部は 1 名増員。学会部から 100 演題目標と聞いており査読部も 1 名増員とした。

岩佐支部局長：査読者は別にいるのに 9 名必要なのか。

廣滋副会長：査読部の下に、査読者リストを作成して査読者の管理をしている。査読者とのやり取りもあるが、今後の人材育成を担いたいと考えているのではないかと推察する。編纂部は投稿論文を査読者とのやり取りや査読水準の統一化などをしており、こちらも人材育成を見据えての増員と思われる。

山内理事：学会誌への投稿の場合、外部の査読者数名以外に編集委員が査読する。編纂だけでなく編集委員会のような機能を担えるようにできたら理学療法福岡はもっと発展すると思うので、検討してほしい。

西浦会長：増員はいいと思うが、予算を守るように指導してほしい。

→学術編纂部 9 名を承認

久保田理事：前年度の 6 名を 7 名に増員したい。協会委託の研修会が増えていることと学術局開催の研修会を支部に手伝ってもらっている状況である。多岐にわたる研修会への対応と支部への負担の減少のために増員を希望する。

山内理事：今後全研修会を担うと聞いているが、研修会の内容の吟味だけでも大変だと考える。むしろ 1 名の増員で大丈夫か。

西浦会長：不足するなら募集として検討してはどうか？

岩佐支部局長：部長が福岡に偏っているので支部間での偏りをなくせるように、支部に推薦を依頼するなどのコミュニケーションをとってほしい。

森田監事：部長の支部のことも大事だが、専門領域の偏りが無いことが前提に部長を選定および配置するべきではないか。それは編纂部にも共通する意見である。

→学術研修部 7 名を承認

山口理事：前任者 6 名であった。臨床実習指導者研修会の実務が増えることと、地区支部への説明会の増える可能性があると考え、北九州と筑後を各 1 名ずつ増員の 8 名を検討した。北九州は適任者が見つかったが、筑後の前任部長に協力し声をかけてもらったが、応募者がいなかったため、1 名増員の 7 名で承認をもらいたい。

福田理事：筑後は 1 名なので説明に回るには一人に負担がかからないか。

西浦会長：筑後支部に理事推薦を依頼し追加の部長は、次回理事会で報告すること。

→教育研修部 7 名を承認

熊谷理事：公益事業推進部の事業は年間 25 回の上、3 日間を要するものもある。前年まで

一般会員にも多くの負担をお願いしてきた経緯がある。適正人数かどうかは断言できないが応募者すべてを受け入れ2名の増員としたい。適正人数かどうかの査定については2年間かけて評価したいと考える。

→公益事業推進部 14 名を承認

高橋社会局長：職能部は各部 2 名減になっている。診療報酬に支部の均一性を踏まえ福岡支部で詳しい方がいればご紹介ください。

→職能部 6 名を承認。

加藤理事：総務部は前回人数と同じ 4 名で配置したい。

近藤事務局長：なぜ、総務、災害対策部で分けているのか。

平原総務局長：2 年前に災害対策部を発足したときに、災害対策部だけの仕事ではなく総務部との兼任という形で立てた経緯がある。ただ、組織図では総務局の下に総務部と災害対策部の 2 つがあるので、この記載になっている。JRAT の事を考えると各支部の部長に災害対策部を担ってほしいと考えており、実際、総務部長にも災害対策部の手伝いや教育研修への参加をしてもらっている状況はある。

近藤事務局長：全員を総務、災害対策部としてはどうか。

西浦会長：災害対策の意味を考慮すると、各支部より配置するべきではないか。組織図は必要に応じて書き換えるよう提案してほしい。

→総務部、災害対策部を 4 名承認。組織図が変更になるまで、総務、災害対策部 2 名、総務部 2 名とする。

永野理事：前年度、部長不足で 1 件の事業に託児を配置できなかった事例があり、応募者全員を受け入れてワークバランス部は 4 名としたい。広報部は前年度と同じ 3 名で承認いただきたい。

松崎副会長：新人研修会未修了者を受け入れるのか。

時吉理事：一度新人教育プログラムを終了したが諸事情で更新を忘れて取り消しとなった経緯がある。県士会で活動したい思いは人一倍ある方である。

近藤事務局長：2 年前に新人プログラムを終了していない方を断った経緯があるので、その事例を無視はできないことを考えて、この場で検討してほしい。

永野理事：承認が難しいのであれば今回の増員は見送り、前年度同様、部署内でフォローしあって前年度の人数で活動したいと考える。

山内理事：新人教育プログラムが終了した時点で部長配置としてはどうか。

→組織部 6 名を承認

山内理事：北九州支部は前年度と同じ人数で活動したい。

→北九州支部 7 名を承認

岩佐支部局長：福岡支部は前年度より 1 名減とする。

→福岡支部 8 名を承認

福田理事：前年度 5 名だったが、エリアが広く社会職能部の負担が過多になっているので増やしたい。他の支部に比べても少ない人数の配置なので検討いただきたい。

→筑後支部 5 名承認 理事推薦で 1 名増員とする。

松崎副会長：各地区に 1-2 名の配置で賄えるので前年度人数で活動を希望する。

福田理事：筑後 2 地区部長に公募された方は筑後支部の運営委員も兼務しているが、部長と兼務は不可なのであれば、この場で相談したい。

山内理事：北九州支部にも数名兼務者がいるのでどのように扱えばいいのか困っている。

岩佐支部局長：2 年前に兼務は極力避けるように話し合いがあったと記憶している。

松崎副会長：2 年前のその経緯で運営委員を辞めて部長になった方がいるが、2 年前から部長をしている。

福田理事：兼務を認めてもらえるのであれば、本人は兼務したいという意向である

西浦会長：兼務を認めないわけではないが、部長及び運営委員も負担を減らしたいし、人材発掘の意味も含めて同時進行で検討できないか。

岩佐支部局長：できれば今回は認めて、次回から考慮としてはどうか。

吉田理事：学術局や社会局にもそのような兼務者はいるのではないか。

西浦会長：部長は専任が望ましい、なるべく兼務者を減らし負担を減らしたいが、本人の意向があれば認めるとして、しっかり本人に確かめて決定してほしい。

廣滋副会長：部長と運営委員の兼務はできる人はできるかもしれない。しかし、運営委員から部長になると当たり前だが、部長の仕事がある。部長の仕事で運営委員の仕事がおろそかになるなら、運営委員を他の人に変更することも検討しなければ、組織が循環していかない。部長を増やすことは、予算のことはあるが事業拡大や人材育成の点から悪いことではない。しかし、仕事が少なく部長の役割を担えない状況にしてはいけない。部長と運営委員の兼務は極力避けるべきであり、理事はしっかりと見極めてほしい。

今村理事：支部との連携はしっかりとっていかなければいけないので、ご協力いただきたい。

松崎副会長：もともと 14 名で運営しており、各地区現状以上に増やす必要がないので 17 名応募いただいたが、筑後地区 1 名欠員として 13 名としたい

吉田理事：福岡東地区の 2 名は兩名とも同じ病院だが、違う病院で担当したほうが見識は広がらないか。

松崎副会長：今までの 2 名の実績と地域との連携手腕を鑑みて選出した。

松垣理事：北九州 1 地区の 2 名は小倉エリアに偏っているが、京築エリアの部長は必要ないか。

志田理事：小倉北区での活動を拡大したいので今回は小倉北区の病院勤務の部長を配置した。

山内理事：介護予防を担っている 4 病院から部長が配置されると介護予防分野での活動が

円滑にできる。県との協定もふまえて4病院の会員に部長を依頼していくことも検討してはどうか。

西浦会長：今までの意見を踏まえて、地域包括ケア推進局と支部局はよく話し合って情報交換をください。

→地域包括ケア推進部13名を承認

【学術局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[学会部]

1. シンポジウム講師・司会案に関してご審議頂きたい（講師4名・司会2名ずつ）

<シンポジウム2>

テーマ「理学療法士の職域拡大に挑戦しよう！」

司会案 永野 忍 氏（九州医療スポーツ専門学校）

飛永浩一朗 氏（聖マリアヘルスケアセンター）

・ウイメンズヘルス

第1候補 橋本 優子 氏（うらた整形外科クリニック）

※認定理学療法士（健康増進）

第2候補 漆川沙弥香 氏（Women's Holistic Health Company）

第3候補 熊丸 真理 氏（麻生リハビリテーション大学校）

・行政

第1候補 久保かおり 氏（北九州市保健福祉局総務部 地域リハビリテーション推進課リハビリテーション推進係長）

第2候補 福田 聖子 氏（北九州市保健福祉局総合保健福祉センター）

第3候補 西田 紋奈 氏（北九州市八幡西区役所）

・スポーツ・部活動

第1候補 村上 武史 氏（産業医科大学病院 東筑高等学校ラグビー部）

※認定理学療法士（運動器）

第2候補 中村 雅隆 氏（田原整形外科医院 敬愛高等学校柔道部）

※認定理学療法士（運動器）

第3候補 永吉 由香 氏（聖峰会マリン病院 筑紫女学園高等学校バスケットボール部）

・災害支援

第1候補 池永千寿子 氏（製鉄記念八幡病院）

※認定理学療法士（代謝・健康増進）

第2候補 平原 寛隆 氏（KKR新小倉病院）

第3候補 伊藤 元貴 氏 (介護老人保健施設 伸寿苑)

吉田理事より説明

山内理事：災害を職域としていいのか。

吉田理事：災害は産業保健分野として提案している。

宇戸学術局長：理学療法士の活動という広い意味で職域とした。

廣滋副会長：メンズヘルスは今回テーマにしないのか。

→承認

2. ランチタイムセミナーの講師に関してご審議頂きたい (別紙②)

第1候補 西岡 心大 先生 (長崎リハビリテーション病院 管理栄養士)

第2候補 竹村 仁 氏 (臼杵医師会立コスモス病院 事務長)

第3候補 平川 善之 氏 (福岡リハビリテーション病院)

吉田理事より説明

近藤事務局長：第一候補を栄養士とした理由は何か。

吉田理事：リハビリ栄養の方で大変活躍されている先生であり、第一候補とした。例年ランチタイムに参加者が会場から離れて帰ってしまうので、普段聞けない外部講師をお招きすることで、参加者の離散を防ぐ目的があり、あえて管理栄養士を第一候補とした。

廣滋副会長：今回、プログラム盛りだくさんで、外部講師まで呼ぶと、予算的には大丈夫か。

吉田理事：申し送りで今回のプログラムでは前年度よりも予算が多くなることを踏まえて計上していると聞いている。交通費や講師謝金のことを考えて、講師を県内からリストアップしている。

→承認

[学術誌編纂部]

1. 2019・2020年度 論文査読者および演題査読者の承認をして頂きたい。(別紙③-④)

1) 今回演題査読者には認定理学療法士だけでなく専門理学療法士も加えている。

2) 論文査読者：運動器 11名 神経 9名 内部障害 7名 生活環境支援 3名
基礎 1名 計 33名

3) 演題査読者：運動器 45名 神経 31名 内部障害 19名 生活環境支援 22名
教育管理 9名 基礎 7名 計 133名

宇戸学術局長より説明

松崎副会長：増やした理由は何か。

宇戸学術局長：1演題について3名で査読を依頼していたが、今回査読者を5名に増やしてより精度の高い査読を求める方針である。また、学会の演題数の増加とともに査

読者への負担が多くなっているため増やしたい。

→承認

[学術研修部]

1. 第102回福岡県理学療法士会学術研修大会の講師およびテーマ、司会について
(別紙⑥)

シンポジウム(トピックスⅢ)

テーマ:「終末期がん患者の生活・人生を支える理学療法士の専門性」

講師: 林 邦男 氏(社会医療法人栄光会 栄光病院 リハビリテーション課
課長)

「活動内容」

- ・JPTA及び福岡がんのリハビリテーション研修会実行委員
- ・JPTA主催「進行したがん患者のリハビリテーション」の講師とファシリテーター

「執筆活動」

- ・ホスピス緩和ケア白書2015
- ・終末期リハビリテーションの臨床アプローチ: メジカルビュー社
- ・理学療法ジャーナル2017年1月号: 医学書院 特集「他職種で取り組むがん診療と理学療法」
- ・理学療法福岡2018年4月号: がんリハビリテーション特集「終末期がん患者の理学療法」

久保田理事、宇戸学術局長より説明。認定および専門資格をお持ちではないが、研修会に適した講演を聞けることと、業績を考慮し推薦に至った。

山内理事: 全国的にも少ないのか。

宇戸学術局長: シンポジウムなので福岡県で活躍している理学療法士を対象とした。

近藤事務局長: 来月開催の研修会の講師をこの時期に審議事項に挙げると、もし今日、承認を得られなかった場合、対応に困るのももう少し早めに審議事項に挙げるよう努めてほしい。

→承認

2. 第103回福岡県理学療法士会学術研修大会の日程および会場について

以下の日程および場所にて上記研修大会を企画している。審議をお願いしたい。

日時: 令和2年8月23日(日) 9:50~15:20 (9:00~受付)

場所: アクロス福岡

→承認

[教育研修部]

1. 新人研修会の日時・場所および講師について

新人研修会を以下の日程・場所および講師を企画している。A-3、A-4の担当を新理事よりお願いしたい。ご意見を頂きたい。

日 時：令和元年10月27日（日）10：10～16：40（10：00～開場・受付）

場 所：ピーポート甘木

講 師：A-1 理学療法と倫理

諫武 稔 氏（公益社団法人 福岡県理学療法士会 副会長）

A-2 協会組織と生涯学習システム

西浦 健蔵 氏（公益社団法人 福岡県理学療法士会 会長）

A-3 リスクマネジメント

吉田 純一 氏（公益社団法人 福岡県理学療法士会 理事）

A-4 人間関係および接遇

久保田勝徳 氏（公益社団法人 福岡県理学療法士会 理事）

A-5 理学療法における関連法規

山口 寿 氏（公益社団法人 福岡県理学療法士会 理事）

山口理事より説明

→承認

【社会局】

【法人事業】

1. スポーツ理学療法運営担当者の交替について

久保田理事退任に伴いスポーツ理学療法運営担当者の交替を検討し、中村理事を推薦したい。

※ スポーツ理学療法運営担当者：士会が運営するスポーツ関連事業の企画運営を統括し、かつ、スポーツ理学療法に興味を持つ士会会員のネットワーク形成化を牽引していく人材。

高橋社会局長より説明

→承認

【報告事項】

【会長】

1. 日 時：令和元年6月27日（木） 19：00～20：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校

議 案：三役業務分掌について

委員会構成員について

参加者：西浦、諫武、廣滋、松崎、近藤、平原
西浦会長より説明。第一副会長廣滋氏、第二副会長松崎氏、第三副会長諫武氏と報告。
→承認

2. 2019年度第1回九州ブロック各県理学療法士会長会議

日 時：令和元年7月6日（土） 15：00～17：30

場 所：howffice net 会議室 博多駅前店A会議室

出席者：福 岡；西浦 健蔵（会長） 諫武 稔（副会長） 近藤 直樹（事務局
長）

長 崎；大山 盛樹（会長） 小無田彰仁（事務局長）

熊 本；坂崎 浩一（会長） 大脇 秀一（事務局長） 佐藤 亮（理事）

大 分；市川 泰朗（会長） 高橋 隆一（副会長）

佐 賀；片渕 宏輔（会長） 峰松 一茂（事務局長）

宮 崎；中田 洋輔（会長） 高月 航（事務局長）

鹿児島；梅本 昭英（会長） 平名 章二（副会長）

沖 縄；池城 正浩（会長） 小嶺 衛（副会長）

事務局；加藤 友和（書記）

協 会；白石 浩（監事）

報告事項

- ① 平成30年度九州ブロック会監査報告
- ② 九州理学療法士・作業療法士合同学会2018in 沖縄報告（沖縄）
- ③ 九州理学療法士学術大会2019 in 鹿児島 黎明学会 進捗状況（鹿児島）
- ④ 九州理学療法士学術大会2020 in SASEBO 進捗状況（長崎）
- ⑤ 2019年度九州ブロック教育学術担当者会議進捗状況（沖縄）
- ⑥ 2019年度九州ブロック管理・運営研修会進捗状況（宮崎）
- ⑦ 2019年度九州ブロック現職者講習会進捗状況（鹿児島）
- ⑧ 2019年度九州ブロック臨床実習指導者研修会及び関係担当者会議報告（熊本）
- ⑨ 2019年度九州ブロック政策検討委員会報告（鹿児島）
- ⑩ その他

議 題

- ① 九州ブロック会臨床実習指導者研修会のあり方について（佐賀）
- ② ブロック規約改定について（鹿児島）
- ③ 監事選出内規案について（鹿児島）

西浦会長より報告

九州ブロック全県で会員数の増加が伸び悩んでいた。会員の獲得含め色々な努力が必要なので皆さんと協力、意見交換をして福岡県理学療法士会を魅力的なものにしたいと考えている。よろしくお願いします。

【事務局長】

【法人事業】

1. 特定非営利活動法人北九州市すこやか住宅推進協議会 令和元年度第1回理事会

日 時：令和元年5月16日（木）18：00～19：00

場 所：ホテルクラウンパレス小倉

議 案：①平成30年度活動報告の件

②平成30年度会計収支決算並びに監査報告の件

③令和元年度活動方針・計画案の件

④令和元年度会計収支予算案の件

⑤役員交替の件

⑥会員表彰の件

⑦優良施工業者選定の件

出務者：近藤

2. 特定非営利活動法人北九州市すこやか住宅推進協議会 令和元年度通常総会

日 時：令和元年5月28日（火）18：00～20：30

場 所：小倉リーセントホテル

議 案：①平成30年度活動報告の件

②平成30年度会計収支決算並びに監査報告の件

③令和元年度活動方針・計画案の件

④令和元年度会計収支予算案の件

⑤役員交替の件

⑥会員表彰の件

⑦優良施工業者選定の件

出務者：近藤 ※本総会において理事に選任された

3. 令和元年度九州ブロック各県理学療法士会事務局長会議

期 日：令和元年7月6日（土）11：00～15：00

場 所：howffice net 会議室 博多駅前店 E 会議室

出席者：福岡県 近藤 直樹（事務局長）

佐賀県 峰松 一茂（副会長・事務局長）

長崎県 小無田彰仁（事務局長）

熊本県 大脇 秀一（事務局長）

大分県 田中 とも（事務局理事）

宮崎県 高月 航 (事務局長)
鹿児島県 平名 章二 (副会長・事務局長)
沖縄県 城間 定治 (事務局長)・久高 将臣 (副事務局長)

議 題：各県からの現況報告、質問および確認事項
近藤事務局長より報告

【総務局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[災害対策部]

1. 令和元年度災害対策研修会

日 時：令和元年6月29日(土) 13:00~15:00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：「災害医療におけるリハビリテーション支援について～JRAT とは～」

講師：赤津 嘉樹 先生 (小倉リハビリテーション病院医師)

「被災地での活動報告」

講師：伊藤 元貴 氏

(小倉リハビリテーション病院 老人保健施設伸寿苑)

「災害時の県士会における取り組みについて」

講師：平原 寛隆 氏 (新小倉病院)

出席者：21名 (作業療法士2名)

出務者：諫武、平原、加藤、池永、池田

[組織部]

1. 第1回 福岡支部研修会

日 時：令和元年5月12日(日) 12:00~17:30

場 所：桜十字福岡病院

内 容：利用児童0名

出務者：なし

【公益事業2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

I. 事業

[組織部]

1. 福岡県理学療法士会 LINE@の作成について検討中 (別紙⑤)

永野理事より報告。

無料で使えるラインを作成した。まずは理事で試験的に使用して意見を聞かせてほしい。

ID は別紙のとおりである。情報発信の内容が適切か、情報項目についてなど、意見をいただいて内容を充実させた上で会員に発信していきたいと考えている。ご協力をお願いします。

【法人事業】

[総務部]

I. 事業

1. 平成 31 年度新人オリエンテーション（北九州支部）
日 時：平成 31 年 4 月 14 日（日）10：00～12：00
場 所：製鉄記念八幡病院
内 容：新人オリエンテーション
参加者：100 名
出務者：20 名
2. 平成 31 年度新人オリエンテーション（福岡支部）
日 時：平成 31 年 4 月 28 日（日）10：00～12：00
場 所：福岡和白リハビリテーション学院
内 容：新人オリエンテーション
参加者：133 名
出務者：15 名
3. 平成 31 年度新人オリエンテーション（筑後支部）
日 時：平成 31 年 4 月 29 日（月）10：00～12：00
場 所：ホテルニュープラザ久留米
内 容：新人オリエンテーション
参加者：95 名
出務者：16 名
4. 福岡県理学療法士会定時総会
日 時：令和元年 6 月 15 日（土）13：00～16：30
場 所：大博多ビル
参加者：47 名（代議員）

[財務部]

1. 平成 31 年度新人オリエンテーション（北九州支部）
日 時：平成 31 年 4 月 14 日（日）9：00～12：00
場 所：製鉄記念八幡病院
参加者：100 名
出務者：上川
2. 平成 31 年度新人オリエンテーション（福岡支部）
日 時：平成 31 年 4 月 28 日（日）9：00～12：00

場 所：福岡和白リハビリテーション学院

参加者：133名

出務者：太田

3. 平成31年度新人オリエンテーション（筑後支部）

日 時：平成31年4月29日（月）9：00～12：00

場 所：ホテルニュープラザ久留米

参加者：95名

出務者：諫武

II. 関係会議

1. 養成校との意見交換会（臨床実習指導者都道府県講習会開催準備会議）

日 時：令和元年5月11日（土）15：00～17：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：①都道府県講習会準備状況について

②都道府県講習会開催スケジュールおよび開催までの手順と事務手続きについて

③都道府県講習会開催方法の検討

養成校主体または士会との共同開催など

都道府県講習会開催方法と運営方法について

④都道府県講習会開催費用について

講師謝金・ファシリテーター謝金・参加者旅費・参加費用の負担について

⑤今後のスケジュールについて

⑥福岡県理学療法士協議会の設置について

参加者：37名

2. 福岡 JRAT ミーティング

日 時：令和元年5月22日（水）19：00～20：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校

出務者：永友、加藤、平原

3. 2019年度定時総会事前会議

日 時：令和元年6月6日（木）19：00～20：30

場 所：介護老人保健施設アルファ俊聖

出務者：安、平原

4. 管理者ネットワーク構築のための準備会議

日 時：令和元年6月11日（火）19：00～20：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：1）協会指定管理者研修会について

2) 領域別管理者研修会の企画について (研修のポイント)

出務者：12名

5. 令和元年度定時総会事前打ち合わせ会議

日 時：令和元年6月12日(水) 19:00~21:00

場 所：福岡青洲会病院

内 容：令和元年度定時総会に関する進行打ち合わせ

出務者：近藤、諫武、平原、加藤

6. 総務部会議

日 時：令和元年6月20日(木) 19:00~20:30

場 所：福岡青洲会病院

内 容：1) 災害研修会事前打ち合わせ

2) 総務部引き継ぎ

出務者：諫武、平原、加藤、池永

【学術局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[学会部]

1. 第29回福岡県理学療法士学会の講師および司会について

<特別講演1>

講 師：菅本 一臣 先生 (医師 大阪大学大学院医学系研究科運動器バイオマテリアル学 教授)

テーマ：「理学療法士なら関節の動きを3Dで理解しよう-最適な訓練は理解することで可能となる-」

<特別講演2>

講 師：野添 匡史 氏 (理学療法士 甲南女子大学准教授)

テーマ「脳卒中患者の活動度と再発予防-理学療法士ができること- (仮)」

<シンポジウム1>

テーマ：「Stop the 心不全 理学療法士ができることやるべきこと」

司 会：石松元太郎 氏 (理学療法士 宗像水光会総合病院)

野元 大 氏 (理学療法士 済生会福岡総合病院)

講 師：島添 裕史 氏 (理学療法士 製鉄記念八幡病院)

佐藤 憲明 氏 (理学療法士 JCHO九州病院)

神崎 良子 氏 (理学療法士 九州栄養福祉大学)

2. 管理者研修会 (福岡支部)

日 時：令和元年6月16日（日）9：00～12：30（8：30～受付）
場 所：和白リハビリテーション学院
内 容：管理者ネットワーク構築について（2019年度の取り組みと展望）

公益社団法人福岡県理学療法士会 副会長 諫武 稔
理学療法士のマネージメント

公益社団法人福岡県理学療法士会 会長 西浦 健蔵
各施設における事例紹介

- ・ 診療報酬に関するマネージメント
- ・ リハビリテーション部組織、運営マネージメント
- ・ 新人教育マネージメント

臨床教育及び実習指導について

公益社団法人福岡県理学療法士会 理事 宇戸 友樹

ワールドカフェ（討論）（グループワーク）（名刺交換）

参加者：34名（欠席者：0名）

出務者：山口、長谷川、白川、丸山、國友、宇戸、岡本

3. 管理者研修会（筑後支部）

日 時：令和元年6月30日（日）9：00～12：30（8：30～受付）

場 所：国際医療福祉大学福岡保険医療学部

内 容：管理者ネットワーク構築について（2019年度の取り組みと展望）

公益社団法人福岡県理学療法士会 理事 諫武 稔
理学療法士のマネージメント

公益社団法人福岡県理学療法士会 会長 西浦 健蔵
各施設における事例紹介

- ・ 診療報酬に関するマネージメント
- ・ リハビリテーション部組織、運営マネージメント
- ・ 新人教育マネージメント

臨床教育及び実習指導について

公益社団法人福岡県理学療法士会 理事 宇戸 友樹

ワールドカフェ（討論）（グループワーク）（名刺交換）

参加者：21名（欠席者：1名）

出務者：宇戸、岡、白川

II. 関係会議

[学術局]

1. 第1回学術局会議（web）

日 時：平成31年4月9日（火）19：00～21：00

内 容：審議事項の検討・報告事項の確認
出務者：廣滋、音地、宇戸、山内
次期学会長（鈴木）、筑後支部学術部長
綾部（筑後）、鈴木（29回学会長）

[学術研修部]

1. 第1回学術研修部会議

日 時：平成31年4月24日（水）19：00～21：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：・第102回福岡県理学療法士会学術研修大会について
・理学療法士講習会について（進捗状況など）
・2019年度事業計画および2020年度事業計画について

出務者：山口、長谷川、國友、白川、丸山、中野、野元、宇戸

2. 第2回学術研修部会議

日 時：令和元年6月5日（水）19：00～21：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：・第102回学術研修大会講師内諾進捗状況と司会再選定
・第103回学術研修大会企画案について内容確認と講師選考
・2019年度管理者研修会内容及び出務の確認
・2019年度事業内容の確認
・2020年度事業スケジュール確認と企画立案およびそのスケジュール確認
・2020年度専門理学療法研修会の企画案の確認

出務者：山口、長谷川、野元、白川、國友、中野、丸山、宇戸

[教育研修部]

1. 第1回教育研修部会議

日 時：平成31年4月20日（土）14：00～18：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校 会議室

内 容：・臨床実習指導者都道府県講習会について
福岡県開催6回分の確認と運営、運用方法について確認と検討
・新生涯学習システムについて
4月6日の拡大組織運営会議での資料および情報共有

出務者：岡本、宇戸

2. 第2回教育研修部会議

日 時：令和元年6月3日（月）19：00～21：00

場 所：福岡青州会病院 会議室

内 容：・臨床実習指導者講習会について
・新生涯学習システムについて

- ・2021年4月 運営・運用に関する内容検討
- ・新人研修会開催日と準備の確認
- ・その他

理学療法士講習会（基本編）の進捗状況確認

出務者：島邨、岡本、岡、脇坂、山口、河上、宇戸

【社会局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

II. 関係会議

[職能部]

1. 第1回職能部会議（第1回令和元年度訪問リハビリテーション実務者研修会会議）

日 時：令和元年6月4日（火）19：00～20：30

場 所：あおぞらの里古賀訪問看護ステーション

内 容：令和元年度訪問リハビリテーション実務者研修会について

出務者：笹隈、志田、竹下、久原

【公益事業3 理学療法の知識・技術を提供する事業】

I. 事業

[公益事業推進部]

1. 飯塚国際車いすテニス大会事前研修会

日 時：平成31年4月7日（日）10：00～17：00

場 所：筑豊緑地プール 研修室

テーマ：「国際車いすテニス大会を支えるために ～知る・みる・触る・繋がる～」

講 師：平野 雅也 氏（小倉リハビリテーション病院）

中尾 淳 氏（メディカル・Re-コンディショニング宗廣）

参加者：41名

出務者：植田、三浦、若松

2. 第35回飯塚国際車いすテニス大会 直前会議

日 時：平成31年4月11日（木）18：30～20：00

場 所：飯塚市役所 会議室

内 容：運営内容確認

出務者：植田

3. 2019年度 第1回障がい者スポーツ研修会

日 時：平成31年4月14日（日）10：00～17：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

テーマ：「スポーツ理学療法研修会 基礎」

講 師：佐藤 孝二 氏（久留米大学療センター）

下田 武良 氏（国際医療福祉大学福岡保健医療学部）

参加者：19名

出務者：野原、植田、松崎

4. 2019年度 第2回障がい者スポーツ研修会

日 時：平成31年4月21日（日）10：00～17：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

テーマ：「スポーツ理学療法研修会 応用」

講 師：野原 英樹 氏（福岡リハビリテーション病院）

三浦慶太郎 氏（さくら整形外科・内科リハビリテーション科医院）

参加者：15名

出務者：佐藤、下田、松崎

5. 飯塚国際車いすテニス大会

日 時：平成31年4月23日（火）～平成31年4月28日（日）9：00～17：00

場 所：筑豊ハイツ

内 容：選手のコンディショニング調整

利用者：延べ242名（23日：38名、24日：53名、25日：58名、26日：38名、27日：37名、28日：18名）

出務者：延べ65名（23日：10名、24日：15名、25日：13名、26日：11名、27日：8名、28日：8名）

6. 第57回福岡県身体障がい者体育大会

日 時：令和元年5月2日（木）10：30～15：00

場 所：博多の森陸上競技場

内 容：選手のコンディショニング調整

利用者：37名

出務者：三浦、横幕、高橋、徳永、西田、戸島、入江

7. バスケットボールに関わる障害（傷害）予防事業事前講習会

日 時：令和元年6月22日（土）15：00～18：00

場 所：まえだ整形外科 博多ひざスポーツクリニック

テーマ：「傷害予防事業の進行方法と実技講習」

講 師：佐藤 孝二 氏（久留米大学療センター）

野原 英樹 氏（福岡リハビリテーション病院）

参加者：24名

出務者：森田、宇都宮

〔職能部〕

II. 関係会議

【社会局】

[公益事業推進部]

1. 第35回飯塚国際車いすテニス大会 実行委員会
日 時：平成31年4月11日（木）18：30～19：30
場 所：飯塚市役所
内 容：運営に関する最終確認
出務者：植田
2. 第1回公益事業推進部会議
日 時：令和元年5月30日（木）19：00～20：00
場 所：宗像水光会総合病院
内 容：北九州 OPEN、飯塚国際車いすテニス大会、福岡県身体障がい者体育大会事後会議
出務者：植田、三浦、中田、吉井、宮里、高橋
3. 第35回飯塚国際車いすテニス大会 反省会議
日 時：令和元年6月5日（水）18：30～19：30
場 所：飯塚市役所
内 容：本大会について
出務者：植田、三浦

【支部局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

[福岡支部]

1. 第1回 福岡支部研修会
日 時：令和元年5月12日（日）13：00～17：30
場 所：桜十字福岡病院
内 容：全体テーマ：各領域から考える物理療法の可能性
講演1：「運動療法の効果を高めるための物理療法の考え方とその可能性」
講師1：森 聡 氏（飯塚市立病院）
講演2：「運動器疾患から考える物理療法の可能性」
講師2：仲吉 功治 氏（麻生リハビリテーション大学校）
講演3：「脳血管疾患から考える物理療法の可能性」
講師3：脇坂 成重 氏（桜十字福岡病院）
グループディスカッション：「物理療法の実際とその課題」
座長：森 聡 氏（飯塚市立病院）
参加者：138名（運営スタッフ、講師含む）
出務者：遠藤、久保田、山口、伊集院、下川、川崎、大畷、馬場
2. 第2回福岡支部研修会

日 時：令和元年5月25日（土）14：00～17：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

テーマ：「診療参加型実習の考え方と指導方法～指定規則改正と水準化から見えること～」

講 師：宇戸 友樹 氏（麻生リハビリテーション大学校）

司 会：齊藤 貴文 氏（麻生リハビリテーション大学校）

参加者：28名

出務者：園田、里崎

[福岡1地区]

1. 第1回福岡1地区研修会

日 時：平成31年4月23日（火）19：00～20：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校

テーマ：「脳卒中患者における姿勢制御の理解と臨床動作分析」

講 師：川崎 亘 氏（千鳥橋病院）

司 会：古野 裕隆 氏（千鳥橋病院）

参加者：70名

出務者：齊藤・藤森・小田・仲吉

[福岡2地区]

1. 第1回福岡2地区研修会

日 時：平成31年4月26日（金）19：00～20：30

場 所：桜十字福岡病院

テーマ：「ウィメンズヘルスと理学療法～女性向け健康教室を通じて～」

講 師：橋本 優子 氏（うらた整形外科クリニック）

司 会：中島 大輔 氏（福岡市立心身障がい福祉センター）

参加者：24名

出務者：山口 有菌 中塚 平井 今井 荒木

[福岡東地区]

1. 第1回福岡東地区研修会

日 時：平成31年4月25日（木）19：00～21：00

場 所：水光会ウェルネスセンター

内 容：「心不全と末梢動脈疾患の理学療法」

講 師：明石 聡美 氏（宗像水光会総合病院）

司 会：石元 淳也 氏

参加者：48名

出務者：石松、石元、永家、樋口、赤川、藤井

2. 福岡東地区症例発表会

日 時：令和元年6月21日（金）19：00～21：00

場 所：福岡青洲会病院

内 容：症例発表会

- 1) 慢性疼痛に対し第三世代認知行動療法を施行しADL向上に繋がった症例
嶋津 皓介 氏（北九州古賀病院）
- 2) 既往により両側片麻痺を呈した患者への歩行アプローチ
井上 貴恵 氏（福岡青洲会病院）
- 3) 右人工膝関節置換術（以下TKA）術後患者の右膝関節伸展可動域制限がQOL低下に影響をきたすと予測し治療を行った症例
野上 楓 氏（福岡青洲会病院）
- 4) 心肺運動負荷試験を用いて左官業復帰支援を行った症例
俵久 留美 氏（福岡青洲会病院）
- 5) 重度の起立性低血圧症を呈した症例 - 発症原因と理学療法的アプローチに着目して -
庄島 広大 氏（福岡青洲会病院）
- 6) 積極的な運動療法を実施し歩行の獲得ができた症例
入江 美帆 氏（桜十字福岡病院）
- 7) 下肢装具作成に難渋した症例
大岩 京香 氏（福岡青洲会病院）
- 8) 脳卒中患者の回復期リハビリ病棟退院半年後の歩容変化を考察する～運動連鎖に着目した比較・検討～
原田 剛 氏（栄光会病院）
- 9) 右皮質下出血術後hammer toeに対する理学療法— 一体幹を中心としたアプローチ —
谷口 太施 氏（篠栗病院）
- 10) 両変形性膝関節症によりADL動作の介助量が増加している一例～疼痛軽減に着目して～
中島 昂輝 氏（北九州津屋崎病院）
- 11) 自立歩行獲得まで至った重度片麻痺を呈した若年性脳出血の1症例
— 歩行速度と屋外歩行の関連性に着目して —
上妻 優矢 氏（水光会総合病院）

司 会：桑原 大輔 氏（篠栗病院）

仁位 泰輔 氏（青洲会クリニック）

参加者：45名（うち発表者11名）

出務者：石松、赤川、桑原、山坂、仁位、阿部

[北九州支部]

1. 新人オリエンテーション

日 時：平成31年4月14日（日）10：00～12：00

場 所：製鉄記念八幡病院

参加者：100名

出務者：帆足、兵藤、本田、井上智之、井上智博、亀田、上野

2. 第1回北九州支部研修会

日 時：平成31年4月26日（金）18：30～21：30

場 所：JCHO九州病院 別館4階講堂

テーマ：「実践！褥瘡の理学療法～エビデンスに基づくチーム医療の中での役割～」

講 師：高橋 博愛 氏（宗像水光会総合病院）

司 会：兵頭 正浩 氏（新小倉病院）

参加者：52名

出務者：井上、帆足、熊谷、星木

[北九州1地区]

1. 第1回北九州1地区研修会

日 時：令和元年5月16日（木）19：00～21：00

場 所：九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部

テーマ：臨床における栄養評価とその実践

講 師：鈴木 裕也 氏（製鉄記念八幡病院）

司 会：八重倉政和 氏（新行橋病院）

参加者：99名

出務者：亀田、池田、國田、藤内、緒方

[北九州2地区]

1. 第1回北九州2地区研修会

日 時：令和元年6月17日（月）19：00～21：00

場 所：JCHO九州病院

テーマ：「北九州市の医療・介護連携 ～北九州医療・介護連携プロジェクト会議の
取り組み～」

「大腿骨近位部骨折の地域連携パスと理学療法について」

講 師：山本 賢志 先生（北九州市保健福祉局健康医療部地域医療課）

村上 武史 氏（産業医科大学病院）

司 会：緒方 政寿 氏（正和中央病院）

参加者：82名

出務者：星木、熊谷、藤田、曾我部

[筑豊地区]

1. 第1回 筑豊地区研修会

日 時：令和元年6月18日（火）19：00～20：30

場 所：飯塚病院エネルギーセンター6階大会議室

テーマ：「脳血管疾患後遺症に対する評価と治療～起き上がり・立ち上がり動作へ
治療介入」

講 師：坂口 重樹 氏（誠愛リハビリテーション病院）

司 会：瀬尾 徹 氏（りはなす訪問看護ステーション）

参加者：58名

出務者：横手、山崎、亀谷

[筑後1地区]

1. 第1回筑後1地区研修会

日 時：平成31年4月18日（木）19：00～20：30

場 所：新古賀病院

テーマ：「人工股関節全置換術後の理学療法（股関節の基礎知識から治療まで）」

講 師：谷口 侑紀 氏（久留米大学医療センター）

座 長：家守 秀彰 氏（甘木中央病院）

参加者：93名（内23名は新人）

出務者：安、上瀧、西、水野、中島

[筑後2地区]

1. 第1回筑後2区研修会

日 時：令和元年6月17日（月）19：00～20：30

場 所：国際医療福祉大学福岡保健医療学部1号館3階物理療法室

テーマ：「平衡機能障害に対する理学療法（めまいのリハビリテーション）」

講 師：岡 真一郎 氏（国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 理学療法学科）

補助講師：下田 武良 氏（国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 理学療法学科）

濱地 望 氏（国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 理学療法学科）

司 会：木原 太史 氏（足達消化器科整形外科医院）

参加者：17名

出務者：村上、松崎、江頭、小出、上野、鈴木

II. 関係会議

【支部局】

[筑後1地区]

1. 第1回筑後1地区会議

日 時：平成31年4月10日（水）19：00～21：00

場 所：朝倉医師会介護支援センター

内 容：「年間スケジュールならびに地区研修会事前会議」

出務者：福田、安、上瀧、木村、中原、田中、中島、原、高村、今村、家守、谷口、
西、村山、水野、仲、上瀧、萬代

[筑後2地区]

1. 第1回筑後2地区会議

日 時：令和元年5月14日（火）19：00～20：00

場 所：柳川リハビリテーション学院

内 容：「令和元年度学術計画の確認」

出務者：村上、松崎、木原、高木、江頭、長谷川、榊、上野、伊藤、深野、小出、
芝原、原、吉野

【公益事業2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

II. 関係会議

[筑後1地区]

1. 第2回筑後1地区会議

日 時：令和元年6月21日（金）19：00～21：00

場 所：朝倉医師会介護支援センター

内 容：「7月21日開催の介護予防事業「転倒予防教室」について」

出務者：安、福田、石橋、上瀧、木村、西、立石、塚田、水野、中島、村山、原、
萬代

【法人事業】

II. 関係会議

[北九州1地区]

1. 第1回北九州1地区会議

日 時：令和元年5月28日（火）19：00～20：00

場 所：小倉リハビリテーション学院 会議室

議 題：令和元年度上半期・下半期事業予定確認、新旧運営委員引継ぎ

出務者：亀田、田鍋、眞路、國田、藤内、久保、川上、古賀、渡口、中川、伊藤、
兵頭、緒方、吉田、今村、金田、池内、六反田、都留、池田、右田、善明

[北九州2地区]

1. 第1回北九州2地区会議

日 時：令和元年6月27日（木）19：00～21：00

場 所：製鉄記念八幡病院

内 容：2019年度の上半期地区事業報告および下半期地区事業予定

出務者：36名

[筑豊地区]

1. 第1回筑豊地区会議（全体会議）

日 時：令和元年6月26日（水）18：30～19：30

場 所：飯塚病院リハビリセンター1F

議 題：2019年度の上半期地区事業報告および下半期地区事業予定

出務者：瀬尾、柳、佐川、橋本、川満、舟津、井上智、高橋、山根、井上剛、野田、
井幡、清藤、青柳、小倉、江口、松岡、本多、大原、山崎、亀谷、小宮、
足立、藤井、福山

【法人事業】

1. 運営員の退任・新任について

[福岡1地区]

退任

平山 剛士 氏（誠愛リハビリテーション病院）

江越 美香 氏（寺沢病院）

長尾 有起 氏（さく病院）

倉住 直樹 氏（福岡脳神経外科病院）

有馬 真之祐氏（夫婦石病院）

寒竹 啓太 氏（福岡みらい病院）

新任

仲吉 功治 氏（麻生リハビリテーション大学校）

川端 春輝 氏（新吉塚病院）

杉原 郁弥 氏（新吉塚病院）

藤森 麗樹 氏（夫婦石病院）

再任

園田 剛之 氏（麻生リハビリテーション大学校）

里崎 有希 氏（原病院）

古野 裕隆 氏（千鳥橋病院）

増見 伸 氏（福岡和白リハビリテーション学院）

北園 章博 氏（夫婦石病院）

小田 憲之 氏（たたらリハビリテーション病院）

市原 克哉 氏（誠愛リハビリテーション病院）

池田 幸広 氏（福岡リハビリテーション専門学校）

友清 博紀 氏（さく病院）

[福岡2地区]

退任

中島 大輔 氏 (福岡市立心身障がい福祉センター)
有菌 瑳紀 氏 (桜十字福岡病院)
山口 展明 氏 (桜十字福岡病院)
相浦 聖人 氏 (博愛会病院)
橋本 優子 氏 (うらた整形外科クリニック)

新任

谷口 隆憲 氏 (福岡国際医療福祉大学)
光武 翼 氏 (福岡国際医療福祉大学)

再任

白石 寿恵 氏 (早良病院)
中嶋 奈緒 氏 (早良病院)
今本 麻央 氏 (佐田病院)
白川 達也 氏 (佐田病院)
平井誠太郎 氏 (大木整形・リハビリ医院)
上内田 亮 氏 (済生会福岡総合病院)
中塚 祥太 氏 (福岡記念病院)
戸田祐一郎 氏 (福岡記念病院)
今井 陽平 氏 (博愛会病院)

[福岡東地区]

退任

林 邦男 氏 (栄光病院)
中菌 貴志 氏 (福岡青洲会病院)
畠山 崇文 氏 (青洲会クリニック)
花田 智子 氏 (北九州古賀病院)
綱脇 昇平 氏 (あおぞらの里古賀訪問看護 s t)

再任

桑原 大輔 氏 (篠栗病院)
山坂 誠一 氏 (北九州津屋崎病院)
石元 淳也 氏 (亀山クリニック)
川野 泰寛 氏 (北九州津屋崎病院)
仁位 泰輔 氏 (青洲会クリニック)
帆足 裕平 氏 (福岡青洲会病院)
阿部 隼太 氏 (福岡青洲会病院)
樋口 貴彦 氏 (宗像水光会総合病院)
赤川 哲史 氏 (宗像水光会総合病院)
藤井 良介 氏 (宗像水光会総合病院)

後藤 敬 氏 (桑原整形外科医院)

村岡 良紀 氏 (北九州古賀病院)

[北九州支部]

[北九州1地区]

退任

右田 寛 氏 (九州労災病院)

池田 裕一 氏 (新行橋病院)

善明 雄太 氏 (新小文字病院)

是末成一郎 氏 (久能整形外科・消化器科医院)

嶺 愛優人 氏 (新田原聖母病院)

藤井 弘通 氏 (新田原聖母病院)

中村 遥 氏 (東和病院)

新任

川上 慧 氏 (新小文字病院)

古賀 孝幸 氏 (小倉リハビリテーション学院)

井上 祥教 氏 (小倉リハビリテーション学院)

渡口 龍太 氏 (小倉リハビリテーション学院)

中川 宗祐 氏 (九州労災病院)

兵頭 正浩 氏 (新小倉病院)

今村 啓太 氏 (九州医療スポーツ専門学校)

金田 瑠美 氏 (介護付有料老人ホームあべやま)

池内 智之 氏 (霧ヶ丘つだ病院)

六反田雄一 氏 (霧ヶ丘つだ病院)

都留 孝治 氏 (都留内科医院)

再任

田鍋 拓也 氏 (大手町病院)

眞路 康佑 氏 (JR九州病院)

國田 祥伍 氏 (小波瀬病院)

藤内 雄太 氏 (JR九州病院)

久保絢史郎 氏 (新小文字病院)

松浦 優太 氏 (小倉リハビリテーション学院)

濱邊 新 氏 (九州労災病院)

伊藤 元貴 氏 (介護老人保健施設 伸寿苑)

緒方 勇斗 氏 (新小倉病院)

[北九州2地区]

退任

秋 達也 氏 (新水巻病院)
末松 廣郎 氏 (新中間病院)
古田 高章 氏 (新王子病院)
笠 卓也 氏 (戸畑リハビリテーション病院)
村上 武史 氏 (産業医科大学病院)
烏山 昌起 氏 (九州栄養福祉大学)
熊谷季美絵 氏 (JCHO 九州病院)
星木 宏之 氏 (JCHO 九州病院)
古賀 敬也 氏 (済生会八幡総合病院)
坂本 由佳 氏 (福岡新水巻病院)
立石 聡史 氏 (産業医科大学若松病院)
藤田 昇平 氏 (戸畑リハビリテーション病院)

新任

小幡 華弓 氏 (東筑病院)
原田 祥吾 氏 (東筑病院)
河本 展良 氏 (新中間病院)
菊谷 大樹 氏 (戸畑共立病院)
鐵見 竜司 氏 (済生会八幡総合病院)
原田 翔平 氏 (おんが病院)
古海 卓馬 氏 (おかがき病院)
東 幸児 氏 (合同会社 EAST)
瀧上 良信 氏 (北九州市立八幡病院)
植田 裕之 氏 (北九州八幡東病院)
上野 仁豪 氏 (産業医科大学若松病院)
尾池 拓也 氏 (田原整形外科医院)
加納 啓輔 氏 (製鉄記念八幡病院)
津々見勇介 氏 (戸畑リハビリテーション病院)
福島遼太郎 氏 (芦屋中央病院)
前田 悠介 氏 (JCHO 九州病院)
溝上 拓也 氏 (JCHO 九州病院)
松江登史輝 氏 (福岡新水巻病院)
松本真理子 氏 (福岡新水巻病院)
矢野 雄大 氏 (産業医科大学病院)
高尾 愛子 氏 (あやめ訪問看護ステーション)

再任

園田 純一 氏 (西野病院)

石川 夏彦 氏 (八幡東病院)
伊藤 圭一 氏 (あやめの里)
有働 大樹 氏 (正和なみき病院)
大内 智彦 氏 (プレゼンスワンダー株式会社)
北口 愛子 氏 (戸畑リハビリテーション病院)
久保田敦志 氏 (おかがき病院)
中島 真也 氏 (正和なみき病院)
南部 一気 氏 (西野病院)
西田 紋奈 氏 (八幡西区役所)
野中 沙恵 氏 (戸畑共立病院)
森本 和馬 氏 (東筑病院)
後藤 圭 氏 (製鉄記念八幡病院)
緒方 政寿 氏 (正和中央病院)
曾我部紳吾 氏 (八幡東病院)
和田 新志 氏 (正和なみき病院)
今別府和徳 氏 (芦屋中央病院)

[筑豊地区]

退任

香山 亮一 氏 (一本松すずかけ病院)
尾方 佑輔 氏 (飯塚病院)
梶原 貴志 氏 (社会保険稲築病院)
溝口 史彦 氏 (済生会飯塚嘉穂病院)
瀬尾 徹 氏 (りはなす訪問看護ステーション)

新任

柳 颯 氏 (宮若整形外科医院)
佐川 優 氏 (済生会飯塚嘉穂病院)
橋本 遼司 氏 (宮田病院)
川満 謙太 氏 (飯塚病院)
井上 智博 氏 (飯塚病院)
舟津 隆之 氏 (くらて病院)
高橋 遼 氏 (穎田病院)
井上 智貴 氏 (社会保険稲築病院)
北川 寛章 氏 (西尾病院)
山根 優一 氏 (飯塚市立病院)

再任

井上 剛 氏 (デイサービスセンターすばる)

野田 智志 氏 (宮田病院)
井幡 康明 氏 (リハビリ特化型デイ ムーブメントプロ飯塚)
清藤 亮吾 氏 (リハビリ訪問看護ステーションすばる)
青柳 彰悟 氏 (デイサービスセンターきらぼし)
小倉 健司 氏 (田川新生病院)
引田 達也 氏 (デイサービスセンターすばる)
江口 高志 氏 (村上外科病院)
横手 翼 氏 (飯塚病院)
松岡 洸 氏 (西尾病院)
本多 佑也 氏 (総合せき損センター)
大原 常豊 氏 (介護老人保健施設 恵みの里)
山崎 浩平 氏 (飯塚市立病院)
高田 和宏 氏 (社会保険田川病院)
亀谷 文弥 氏 (りはなす訪問看護ステーション)
小宮 優 氏 (飯塚市立病院)
足立 雅俊 氏 (穎田病院)
藤井 俊文 氏 (第二いずみ苑)
福山 智昭 氏 (共立病院)

[筑後支部]

[筑後1地区]

退任

今村 泰隆 氏 (甘木中央病院)
谷口 侑紀 氏 (久留米大学医療センター)
中原 大輔 氏 (新古賀病院)
高橋 早希 氏 (丸山病院)

新任

福有 勇路 氏 (嶋田病院)
松本 大輔 氏 (久留米リハビリテーション病院)
保坂 公大 氏 (久留米リハビリテーション病院)
松尾 直樹 氏 (TASUKI リハビリサービス)

再任

中島 有哉 氏 (安本病院)
村山菜都弥 氏 (丸山病院)
高村三富美 氏 (聖マリア病院)
水野 政慶 氏 (聖マリア病院)

萬代 陽介 氏 (嶋田病院)
木村 亮子 氏 (しのくま整形外科クリニック)
立石 圭佑 氏 (久留米リハビリテーション病院)
西 敬太 氏 (久留米リハビリテーション病院)
石橋 和博 氏 (介護老人保健施設 こが 21)
家守 秀彰 氏 (介護老人保健施設 アルファ俊聖)
上瀧 貴弘 氏 (朝倉医師会病院)
塚田 裕也 氏 (久留米大学医療センター)
川原 敏郎 氏 (聖マリアヘルスケアセンター)
原 孝太 氏 (朝倉医師会病院)

[筑後 2 地区]

退任

深野 晃平 氏 (大牟田天領病院)
岡 真一郎 氏 (国際医療福祉大学福岡保健医療学部)
中富 翔 氏 (八女リハビリ病院)

新任

菊次 幸平 氏 (柳川療育センター)
吉野 賢一 氏 (柳川療育センター)
難波 未帆 氏 (福岡県済生会大牟田病院)
山本 基記 氏 (福岡県済生会大牟田病院)

再任

榊 英一 氏 (専門学校 柳川リハビリテーション学院)
平田 大勝 氏 (専門学校 柳川リハビリテーション学院)
上野 康博 氏 (介護老人保健施設 シャンティ)
本田 進 氏 (米の山病院)
伊藤 雄矢 氏 (米の山病院)
江頭 陽介 氏 (高木病院)
松崎 泰則 氏 (高木病院)
行平 崇 氏 (帝京大学 福岡医療技術学部)
芝原 夏樹 氏 (みずま高邦会病院通所リハビリセンター)
長谷川竜二 氏 (ヨコクラ病院)
山田 博文 氏 (社会保険大牟田天領病院)
深野 晃平 氏 (社会保険大牟田天領病院)
原 浩則 氏 (八女リハビリ病院)
鈴木あかり 氏 (国際医療福祉大学)
小出 佳典 氏 (柳川リハビリテーション病院)

木原 太史 氏（足達消化器科整形外科医院）
高木 和大 氏（特別養護老人ホーム 星寿園）
江崎 彩夏 氏（川崎病院）
松尾 一城 氏（地方独立行政法人 筑後市立病院）
堤 篤秀 氏（地方独立行政法人 筑後市立病院）
楠元 正順 氏（川崎病院）

岩佐支部局長、山内理事、福田理事より報告

【地域包括ケア推進局】

【公益事業3 理学療法の知識・技術を提供する事業】

II. 関係会議

[地域包括ケア推進局]

1. 糸島市通所B 新事業会議

日 時：令和元年5月10日（金）18：30～20：30

場 所：糸島市役所

内 容：糸島市役所と今年度より行う、新事業通所Bの事業について打合せ

出務者：松崎

2. 糸島市介護予防指導事業 通所B説明会

日 時：令和元年5月27日（月）18：30～20：30

場 所：富集落センター（糸島市富226-4）

内 容：糸島市で行う介護予防指導事業 通所Bについて、事業メンバーと糸島職員と一緒に、地域住民に説明

出務者：松崎、後藤、小西、久保山、椎葉、松山

松崎副会長より報告

【その他事業 会員の福利厚生に関する事業】

【法人事業】

【各委員会】

【50周年記念式典準備委員会】

1. 50周年記念事業（公開講座、式典、祝賀会）準備進捗報告（別紙⑦-⑮）

別紙の通り現在準備を行っている。

ロゴマーク投票について

廣滋準備委員長より報告

ロゴマーク106件の応募があり、最終候補は4件になった。この4件から投票を行い、今月中に決定する予定である。最優秀賞には10万円が贈られる予定である。記念品は16Gの

50周年記念と印字されたUSBを考えている。

諫武副会長より財務について報告。

記念公演は公益事業、記念品祝賀会は法人事業として分割している。そのため積立金に関しては公益事業にのみ適用される。今の予算では余る可能性があり、50周年記念品として公益事業に必要な物品を購入するかもしれない。

2. 50周年記念誌作成について（別紙⑯）

別紙の通り目次を作成し、記念誌作成準備を行っている。

廣滋準備委員長より報告

【依頼事項】

【総務局】

【法人事業】

[財務部]

1. 財務担当者が交代した局および支部は交通費の清算の仕方などの引継ぎの確認をお願いしたい。

→時吉理事より依頼

【確認事項】

【総務局】

【法人事業】

I. 事業

[総務部]

1. 2019年度・2020年度理事会スケジュールについて（別紙⑰）

2019年度・2020年度理事会スケジュールを作成した。別紙の予定で各部局の運営の参考に活用して頂きたい。

平原総務局長より説明

近藤事務局長：8月と10月が臨床実習指導者研修会と日程が重なっているので総務局より調整してほしい。

平原総務局長：理事メールを送るので返信をお願いしたい。

[災害対策部]

1. 災害派遣登録要員の登録について（別紙⑱）

平原総務局長より説明

以上この議事録の内容が正確であることを証明するため、出席した会長、監事は、次の通

り署名する。

令和元年 7月30日

公益社団法人 福岡県理学療法士会